



平成 29 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 双 葉 電 子 工 業 株 式 会 社
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 高 橋 和 伸
 (コード番号 6986 東証第一部)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 中 村 正 行
 業 務 管 理 本 部 長
 T E L 0 4 7 5 (2 6) 0 1 6 0

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(1) 平成 30 年 3 月期通期連結業績の前回発表数値と今回修正数値との差異

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	67,000	1,450	1,400	400	9.42
今回修正予想 (B)	70,000	1,000	1,400	1,600	37.72
増減額 (B-A)	3,000	△450	—	1,200	—
増減率 (%)	4.5	△31.0	—	300.0	—
(ご参考)前期実績 (C) (平成 29 年 3 月期)	64,157	△384	△321	△2,371	△55.86
増減額 (B-C)	5,843	1,384	1,721	3,971	—
増減率 (%)	9.1	—	—	—	—

(2) 差異および修正の理由

【売上高の増加要因】

電子デバイス関連事業のタッチセンサーでは、当初想定していなかった車種の受注が確定したことおよび顧客からの受注継続があったこと、生産器材事業の国内プレート製品および成形合理化機器とアジア向けが当初想定よりも旺盛な受注が見込まれることなどから、売上高が増加する見込みです。

【営業利益の減少要因】

電子デバイス関連事業のタッチセンサーでは、当初の想定を上回る旺盛な受注に対し、供給体制の逼迫した状況が長引き、生産体制や輸送体制の特別対応を行った結果、生産コストの上昇および運送費等が増加しました。また、生産器材事業では、海外子会社の人件費が増加したこと、平成 29 年 8 月 25 日に開示

いたしましたとおり、株式会社カブクを子会社化したことに伴う先行投資費用の増加が見込まれることなどにより、営業利益が減少する見込みです。

【親会社株主に帰属する当期純利益の増加要因】

平成 29 年 10 月 20 日に開示いたしましたとおり、松戸精機工場の譲渡に伴う固定資産売却益 1,470 百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益が増加する見込みです。

以上のことから、平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期通期の連結業績予想を以上のとおり修正いたします。

なお、第 3 四半期連結会計期間以降の為替レートは 1 米ドルあたり 110 円を想定しております。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報を合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合がありますことをご承知おきください。

以 上